

城址公園のこども遊園地の在り方に関する懇談会について

- 1 日 時 令和 7 年 11 月 12 日（水） 午前 10 時から午前 11 時 10 分まで
- 2 場 所 301 会議室（本庁舎 3 階）
- 3 出席者 別紙城址公園のこども遊園地の在り方に関する懇談会出席者名簿のとおり
- 4 傍聴者 1 人
- 5 概 要
(1) 経済部長あいさつ

(2) 城址公園のこども遊園地の在り方を考える参考情報

- ア 小田原こどもの森公園わんぱくらんど（以下、わんぱくらんど）の概要
みどり公園課副課長から説明した後、意見交換を行った。

進行

「わんぱくらんど」の概要についてのご質問はあるか。

構成員

わんぱくらんどの駐車場は予約制か。

みどり公園課副課長

土日の午前中は予約制としている。開園当初は駐車場が満車となり小田原厚木道路まで渋滞が発生して交通に支障をきたしたため、予約制の駐車場とした。

構成員

第 4 駐車場までであるが、駐車可能な台数を伺いたい。

みどり公園課副課長

常設の駐車場の駐車台数は 290 台である。

ゴールデンウィークや夏休みなど、利用者が多い期間は臨時駐車場として 159 台分を確保しており、全部で 449 台分となる。

構成員

利用者の駐車料金を市内と市外で分けているが、確認方法を伺いたい。

みどり公園課副課長

駐車場への入庫の際に職員が運転免許証などで確認している。

構成員

市民は、駐車料金が無料となることはないか。

みどり公園課副課長

今年度は、25 周年記念として期間を定め 9 月、10 月に市民を対象に平日の駐車料金を無料とした。また、12 月と 2 月にも 2 週間程度、平日の駐車場の利用料金を無料とし、市民が来園しない理由が駐車場料金にあるのかを分析する。市民の利用が増えるよう検討していく。

構成員

先ほどの説明のとおり、市外の方が 8 割も利用されているのか。

みどり公園課副課長

家族連れの来園者に確認したところ、箱根などへの観光の前に来園される方が多いようである。また、旅行帰りに寄っていただける方もいるようである。

自動車での来園者は、小田原厚木道路の荻窪インターに近いため、利便性が良いとのことである。

構成員

年間来園者の集計方法を伺いたい。

みどり公園課副課長

バスや徒歩で来園される方もいるため、駐車台数に 4 人を乗じて推計している。

構成員

来園者からはどのような意見や要望があるのか。

みどり公園課副課長

来園者からは「楽しかった」や「また来園したい」といった声がある。良かった意見としては、小さい子どもも遊べる遊具が多くあることや、駐車場の予約システムに関する事などが多い。

要望としては「売店やレストランがない」、「園内の案内板が古く分かりにくい」、「高学年向きの遊具がない」、「新しい遊具を導入してほしい」などがある。

構成員

市民の駐車料金が無料となるのは平日のみか。また、その効果を伺いたい。

みどり公園課副課長

駐車料金の無料は平日のみである。10月は周知が不足していたこともあり、利用が大きく増えた状況ではなかった。12月と2月に実施する際はしっかりと周知を行い、効果を検証してまいりたい。

構成員

毎年2月に辻村植物公園の梅を見に行かれた方からは、短い時間で駐車料金510円は割高であるとの声を聞く。

A I に小田原で親子で楽しめる場所を聞いたところ、1番目が城址公園の歴史見聞館とこども遊園地、2番目がわんぱくらんど、3番目が鈴廣かまぼこの里、4番目が生命の星地球博物館であった。わんぱくらんどは上位で人気のある施設であった。また、わんぱくらんどのわくわく号はなくなったのか。

みどり公園課副課長

わくわく号をリニューアルしてぼうけん号になった。

構成員

おだわら市民講座で「根府川の人車鉄道あと」をテーマに案内したが、わくわく号が軽便鉄道を模した姿であったので、観光ガイドで鉄道好きの方に紹介していた。

イ 市民会館跡地等整備基本計画の策定について

ウ 都市空間デザイン事業の取組について

事務局から説明した後、意見交換を行った。

進行

市民会館跡地等整備基本計画の策定及び都市空間デザイン事業の取組についてのご質問等はあるか。

構成員からの質問等はなし。

(3) 第1回懇談会における主な意見と在り方を考える視点について

事務局から説明した後、意見交換を行った。

進行

「第1回懇談会における主な意見と在り方を考える視点について」のご質問等はあるか。

構成員

ご家族連れの来訪者には、意識して星崎記念館前からガイドを行うが、最近はこちらも遊園地の休園が長く続いていることから、こども遊園地に関する声が減っている印象である。このまま忘れられてしまうことも寂しい気がするが、来訪者からの声としては、資料に記載されているとおりである。

また、小学校4年生にお城の石垣のお話をするとう興味を示す児童もいるため、勉強しながら楽しむという切り口もあると思う。

構成員

小田原城天守閣の指定管理をしている立場からすると、多くの家族連れの方がこども遊園地に来園し、そのまま小田原城天守閣に入館してもらえればと思う。

先ほど、わんぱくらんどの来園者は市外の方が8割、市内の方が2割というお話があったが、地元の者からすると、城址公園のこども遊園地への来園者は市内の方が多いのではないかとと思う。

こども遊園地は、市民の方々をひきつけるためのアイテムとして大きな存在であると思う。利用料金が安いこともあるが、わざわざ市外の人たちがこども遊園地に来てくれるのかということも思う。この視点を考える必要がある。

小田原城天守閣の市民の入館者数は非常に少ない状況である。こども遊園地は、市民のリピーターを呼び込むためのアイテムといった考え方はあると思うが、そうした家族連れの方々は、遊園地に来園しても天守閣には入館しない状況である。

こども遊園地の存在の位置付けを、市民のリピーターを呼び込む施設とするのか、あるいは市外の家族連れの方々に楽しんでもらう施設にするのかによって、方向性が大きく変わると思う。

構成員

こども遊園地は、誰を一番にもてなす相手とするのかによって考え方が大きく変わると思う。市内の方がターゲットであれば、こども遊園地でよいと思うが、市外の方をターゲットにするのであれば、まち歩きのコンテンツの1つとして立寄りスポットとすることなどが考えられる。

市民の方が、わんぱくらんどを利用しない理由は分からないが、市民の方の憩いの場は多くあると思うので、様々な取組や場所を有機的につなげていくことがよいと思う。

こども遊園地は面積が狭く、長時間の滞在は難しいと思うので休憩などの立寄りスポットの1つとし、最後に小田原城天守閣に入館してもらうことも考えられる。

構成員

小田原城天守閣の展示が充実している。興味のある子どもには十分楽しめる内

容になっている。例えば、小田原城天守閣の次にわんぱくらんどに行くなど、お城を中心とした親子で楽しめる観光のゴールデンコースを企画してガイドすることも考えられる。

構成員

小田原城を目的に来た人で、たまたま遊園地があったから立寄って遊んでいく人もいたのではないかなと思う。城址公園周辺には市民会館跡地や都市空間デザイン事業の取組も行われている中で、こどもの遊び場として、遊園地に固執しなくてもよいのではないかなと思った。

今は、謎解きイベントにファミリーで参加している姿をよく見かける。先日、開催された一夜城まつりでも、子どもたちが自然の中を駆け回ってラリーをしている姿を見ると、遊園地や遊具だけではなく、別の視点でも子どもが遊べる環境をつくれるのではないかなと感じている。

まち歩きでは、関係団体等が親子で楽しめる様々なコースを考えていただいており、また、なりわい交流館でのちょうちんづくりや観光交流センターでは寄木のコースターづくりを楽しめるなど、子どもをテーマとしたコンテンツを広げられるのではないかなと考える。

進行

こども遊園地の維持管理の面からご意見を伺いたい。

構成員

こども遊園地での現状の作業を紹介させていただく。1つ目は園内清掃、管理業務、2つ目は手摺やテント等の支柱の再塗装作業、3つ目は遊器具の維持管理と動作確認の作業を行っている。これらの作業を週2日3人で行っている。

遊器具の交換部品の調達が懸案となっているが、保有するすべての遊器具は稼働可能な状態にある。今後、問題が生じる場合もあると思うが、自動遊器具の部品調達は可能ではないかなと思う。豆汽車については、部品によっては代用若しくは新規に作成してもらう可能性があるが、調達が不可能ということにはならないと考えている。

令和6年8月12日に豆汽車の脱線事故が発生したが人身被害はなかった。その後、協会職員が枕木交換などの軌道敷の修繕を行い、令和7年2月6日に豆汽車の試験運転を小田原城総管理事務所職員の立会のもとで実施して問題のないことを確認した。その後も数回の試運転を行っているが、問題はない状況である。

現状において、線路は錆ついている状況であるが、錆を落とせば問題はないと考えている。電気系の整流器が不調気味であるが修繕は可能である。

また、豆汽車の乗り心地が悪くならないよう、線路の敷石補充と一部の枕木交換が必要であると考えている。

遊器具の更なる老朽化については、保護カバーや屋内保管のため、それほど老朽化は進んでいないが、動かさないことによって動かなくなるリスクが徐々に高まってくる。週に1度程度は可動部の確認を行っている状況である。

運営者側の視点であるが、再開園に向けては、園内整備と遊器具の維持管理を行っているが、従前、遊園地に勤務していた職員が小田原市事業協会の他施設に異動しているため、再編成する必要がある。市には遊器具を含めた、こども遊園地全体の安全確認をお願いしたい。

進行

史跡整備の面から意見を伺いたい。

構成員

城址公園は史跡小田原城跡という国指定史跡であり、整備を進めているところである。こども遊園地の敷地を含めて史跡整備の対象地である。「史跡小田原城跡保存活用計画」では、遊具の寿命を見据え、段階的に撤去を検討するとしている。この懇談会は遊園地の在り方を考える良い機会であると思う。

文化財課としては、今すぐに遊園地を閉園してほしいという話ではない。この懇談会の中で将来的な在り方を検討してもらえればと考えている。

構成員

わんぱくらんどは、小学生の低学年向けの施設であり、ひとりで遊ぶ遊具が多いが、城址公園のこども遊園地は未就学児を対象としている。わんぱくらんどで小学生の低学年と未就学児が一緒に遊ぶとなると、体格や体力に差があり、ケガなどのリスクがあるので区画をして未就学児用の遊具を集めることも必要ではないかと思う。

また、立地面についても、城址公園のこども遊園地は、小田原駅から徒歩で来園できるが、わんぱくらんどはバスの本数も限られることや、駐車場の利用料金も発生する。遊具の利用料金も、わんぱくらんどは300円かかるが、こども遊園地の豆汽車は80円である。

こうしたことから、こども遊園地は意味があった施設であると考えられる。

また、市外の方が子どもを小田原城に連れてくるための呼び水として、こども遊園地を利用されていたこともあるのではないかと思う。

構成員

史跡小田原城跡の整備を進めているが、史跡整備の目指すところを伺いたい。

構成員

小田原城は戦国時代、江戸時代を通じて存在していたが、一番新しい幕末の姿

を目指して全体的に整備するという方針がある。幕末にあったと考えられる銅門や馬出門などを整備している。

御用米曲輪については、戦国時代のものが発掘されたため、一部であるが戦国時代のものを復元していくこととしている。

構成員

史跡整備のそうした方向性の中で、こども遊園地のあるエリアについて、どのような整備をして、最終的にどのような形にしていくのか伺いたい。

構成員

こども遊園地のエリアについては、具体的にどのような整備を行うかは決まっていない。現在は、御用米曲輪の整備を優先して取り組んでいるところである。

構成員

文久図を見ると、こども遊園地のエリアには堀があったことが確認できる。

構成員

「史跡小田原城跡保存活用計画」の次に整備基本計画を作成する予定であり、その中でエリアごとの整備内容を定めていくこととしている。

進行

ご発言も尽きたようなので、意見交換を終了させていただく。

事務局

本日の懇談会の会議録を事務局で作成し、皆さんに確認いただいた後、市ホームページで公開させていただくことをご承知いただきたい。

また、令和7年度の懇談会は、本日で最後とさせていただく。令和8年度の懇談会の開催日程は、改めて調整させていただきたい。